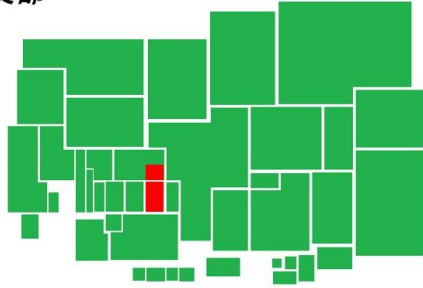


## 熊野支部



### 熊野支部紹介

支部長：寶田正義 会員数84名 地区毎に3個分会を編成  
特別会員 三村町長他、県議1名と町議4名

#### 支部の特色

1. 町との防災協定に基づき、町が主催する防災訓練に参加するとともに、消防出初め式に参列する等、防災関係機関との連携強化に努めている。
2. 町の要請に基づき、夏休み期間中の小学校のプール監視員を務め、児童の安全確保と健全育成に寄与している。
3. 月1回の役員会の開催、年7回の「熊野支部だより」の発刊により活動状況の現況把握および会員への情報提供を行っている。
4. 総会後の懇親会や忘年会で会員相互の融和団結を強化するとともに、参加いただいている熊野町長はじめ7名の特別会員の方々と親睦・信頼感の醸成を図っている。



筆の里工房(1)

#### 筆の里工房

筆の歴史、筆から生まれる美術・工芸・遊びなどを見て・触れる体験ができる施設。



榊山神社(2)

#### 榊山神社

承平3年(933)に宇佐八幡宮から勧請されたとされ、本殿は町重要文化財に指定。

また、毎年秋分の日には筆まつりが開催され、神楽や和太鼓演奏等のイベントや露店等で賑わう。



熊野本宮神社(2)

#### 熊野本宮神社

養和元年(1181)に紀州熊野大権現から勧請し、熊野村の呼称の由来となったと伝えられる。



郷土館(2)

#### 郷土館

大正時代初期に栄えた造り酒屋の建物に人・産業・文化を伝える用具等を保存している。



いさご橋から望む二河川の溪流(2)

#### いさご橋

「いさ」という女性がこの橋から男児を捨てたと伝えられているが、ここから眺める景観は町随一ともいわれている。



鬼瓦(2)

#### 鬼瓦

広島江戸時代の瓦焼きで、幻といわれた「江波瓦」の存在を立証したのがこの鬼瓦